

兵身協

発行

公益財団法人 兵庫県
身体障害者福祉協会
神戸市中央区坂口通
2丁目1の1
兵庫県福祉センター6階
TEL 078-242-4620
FAX 078-242-4260
発行人 岡田 和隆

新年度を迎えるにあたって

公益財団法人 兵庫県身体障害者福祉協会

理事長 岡田 和隆

兵庫県身体障害者福祉協会は、平成24年4月1日に兵庫県知事の認定を受け、それまでの財団法人から公益財団法人に移行いたしました。公益財団法人として2年目を迎える今年度、身体障害者福祉の向上に、これまで以上に積極的に取り組んでいくことが求められております。

今、国におきましては、改正障害者基本法のもと障害者差別禁止法の制定や障害者基本計画の策定が進んでおりますが、昨年暮れの総選挙の結果、政権が交代いたしました。そのような中兵身協といたしましては、国や県の動向を注意深く見守りながら諸事万端着実に取り組んでいくことが、喫緊の課題となっております。

一方、協会の運営につきましては、皆様方のご協力を頂きながら改革を進めておりますが、財政状況は依然厳し

く、まだまだ道半ばと言わざるを得ません。そのような中ではあります、今年度、改革を实のあるものとするため、二つのことを進めてまいります。

一つには、かねてから懸案の「会費の減額」を実行いたします。このことにつきましては、これまで取り組んでまいりました自販機による収入財源を、他の改革に先行充当して実施するものでございます。また一つには、身体障害者に真に必要な事業であります「身体障害者総合相談事業」を新たに発足させてまいります。

もとより兵身協は、県内の身体障害者の福祉の向上に役

立ち、また、喜ばれる組織となっていくことが求められておりますが、その実現は、また現在取り組んでおります改革の実現は、皆様方のお力添えがなければ決してできるものではありません。

どうぞ会員の皆様方にはご理解を賜り、従前にも増してなお一層のご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

なお、新年度の具体的な事業につきましては「平成25年度事業体系（当初

収支予算ベース）」に示しておりますように実に多種多様であります。会員の皆様方に「参加して良かった」と思っただけですよう、事務局一同と頑張っておりますので、積極的なご参加をお待ちしております。



平成25年度 事業体系(当初支出予算ベース)

【単位：千円】

		予算額
身体障害者の自立と社会参加をめざして	《公1》 啓発・啓蒙事業 10,074	
	兵庫県障害者福祉大会開催事業	550
	啓発・啓蒙普及事業	2,369
	広報資料発行事業	400
	みんなの声かけ運動実践事業	3,705
	「譲りあい感謝マーク」兵庫からの発信事業	200
	身体障害者福祉活動推進事業	2,850
	《公2》 研修事業 3,900	
	指導者等養成研修事業	900
	身体障害者相談員研修事業	900
	音声機能障害者発声訓練・指導者養成事業	1,361
	人工肛門・人工膀胱保有者社会適応訓練事業	739
	《公3》 社会参加推進事業 13,263	
	社会参加推進センター運営事業 ・センターの設置 ・芸術文化祭の開催(共催) ・ホームページ等による情報提供	4,500
	障害者スポーツ振興事業 ・グラウンドゴルフ県大会の開催 ・ボウリング大会の開催(共催) ・ふうせんバレーボールの普及	460
その他事業	青少年組織強化推進事業	400
	身体障害者生活行動訓練事業	800
	身体障害者外出支援事業	2,178
	・ジパング倶楽部事業	
	・駐車禁止除外指定車標章事業	
	・「譲りあい感謝マーク」グッズ販売事業	
	「障害者110番」運営事業	4,000
	災害時要援護者支援体制整備事業	500
	身体障害者総合相談事業	10
	生活環境改善資金貸付事業	407
その他事業	更生資金特別貸付事業	8
	協会管理運営業務 (理事会・評議員会・事務所運営費等)	3,094

2013 第18回 障害者スポーツ交流館杯 ボウリング大会

今回も大盛況！

3月2日（土）、明石市のスーパーボウル二見にて、恒例の「2013第18回障害者スポーツ交流館杯ボウリング大会」が県立総合リハビリテーションセンターと共催で行われました。参加者は103名で今回も大盛況でした。

シングルの部では障害区分別の6クラス、ノンガーターレーン・シューター（投球台）を使用するチャレンジ部門、障害区分のないオープン部門、またペアの部では介助者や家族と組んでプレーするなど、それぞれ自分に合った方法でゲームを楽しめました。

スコアは、1ゲームで200点を超える人から50点に満たない人まで格段の差はありましたが、和気あいあいの雰囲気の中、あっという間に2ゲームが終了しました。

表彰式では、各クラスの上位成績者に、兵身協岡田理事長から楯と賞



各々のスタイルでボウリングを楽しむ参加者

品が贈られました。次回も多数のご参加をお待ちしています。（山口）

第8回兵庫県障害者芸術・文化祭 美術工芸作品公募展が 開催されました

平成25年3月12日（火）～17日（日）、原田の森ギャラリー（兵庫県立美術館王子分館）において美術工芸作品公募展が開催されました。



絵画の部（171点）、書道の部（70点）、写真の部（33点）、工芸の部（37点）、その他の部（55点）を合わせて366点の力作を前に審査は白熱しましたが、兵庫県身体障害者福祉協会理事長賞は書道の部に「立春」を出品した酒井巖さんが受賞されました。

公募展開催中は多数の方が会場を訪れ、来場者に福祉作業所で作ったお菓子のミニプレゼントがあるなど楽しい雰囲気に包まれた展示会でした。

作品制作をご指導くださった諸先生および関係者の皆様に心から感謝いたしますとともに、引き続き創作活動にご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年度障害者社会参加 推進協議会が開催

2月28日、兵庫県福祉センターにおいて、社会参加推進協議会が各構成団体代表者委員13名の参加のもとに開催されました。

岡田委員長の開会あいさつの後、大西県障害福祉課長、上田県障害者支援課長から平成25年度兵庫県障害福祉施策の概要について、それぞれ説明がありました。

各委員からは障害福祉施策の新しい動きや障害者雇用等についての質問がありました。また、県各課長からは国の動向や県内の障害者雇用率達成状況などの詳細について説明がありました。そのあと各構成団体間の情報交換が行われ、千差万別の障害に対し各団体が細やかな支援体制を充実すべく取り組んでいることを確認しました。

また各団体で直面する様々な問題の解決に向けて、各構成団体の連携、協力を強化する必要のあることを確認するとともに、県に障害者福祉への一層の支援・協力を要請しました。



「みんなの声かけ運動」 研修交流会を開催しました

声かけ運動推進員を対象とする研修交流会を、昨年11月から1月にかけて地区別に5回開催しました。

今年度の講師は、梅紀久代先生と清田佳代先生でした。梅先生は「災害時要援護者が求める支援とは」と題して、ご自身が障害者である体験を活かして開発した「救助担架、救助用おんぶひも、バンダナ」などを活用した救助・避難活動について具体的なお話でした。清田先生は「ホスピタリティマインドと声かけ運動」と題して、受講生がペアになって相手をありのままに受け入れる実習（ペアワーク）を中心としたコミュニケーションの取り方についてのお話でした。

講演後は、講演内容や声かけ運動の活動体験などについて意見交換を行いました。熱心な話し合いが続きました。了を伝えるのが躊躇されるぐらいでした。（仁井）

地域名	開催日時・場所
阪神南 阪神北	11/3(土)14:00～16:00 西宮市民会館301号室
但馬 丹波	12/1(土)14:00～16:00 豊岡市民プラザ市民活動室D
播磨 北播磨	12/15(土)14:00～16:00 加古川市総合福祉会館101室
神戶 淡路	1/12(土)14:00～16:00 兵庫県福祉センター103号室
中播磨 西播磨	1/26(土)14:00～16:00 姫路市自治福祉会館4号室

第5回兵庫県身体障害者

『青年交流のつどい』
参加者募集!

毎年大好評の「青年交流のつどい」を、今年は6月23日(日)、芦屋市で開催します。会場は芦屋市総合公園で、緑に関する講演会やビンゴゲーム等を企画しています。県内各地から50名の参加者を募集していますので、お早めにお申し込みください。申込書は、各市郡町身体障害者団体事務局へ4月16日(火)に配布しました。申込期日は、5月31日(金)です。スタッフ一同、皆様方のご参加をお待ちしています。詳細は、078(242)4620(山口)まで。

自販機の設置場所を
探しています!

兵庫県身体障害者福祉協会は、自販機の設置を進めております。自販機の設置により得た収益は、場所を提供(貸与)して下さった方と折半いたします。当協会が得た収益は、協会の運営資金として、身体障害者のための福祉事業に使用させていただいております。現在すでに10数か所で設置していただいておりますが、障害者福祉の向上につながる「自販機の設置」に、ぜひ皆様方のお力添えを期待しております。

【問合せ先】 兵身協事務局 堀尾、安田 ☎078-242-4620

日身連全国大会が
札幌で開催されます!

『北の大地から絆でつなぐ被災地復興の加速と支援体制の充実を全国の仲間と共生社会に発信』をテーマに、平成25年5月27、28日の2日間にわたり、第58回日本身体障害者福祉大会北海道・札幌大会が札幌市において開催されます。

《大会日程》

5月27日(月)

会場 札幌エルプラザ

10時

日身連評議員会

13時

基調講演・政策協議

18時30分 歓迎レセプション

5月28日(火)

会場 北海道立総合体育センター

(北海きたえーる)

10時

第58回日本身体障害者福祉大会北海道・札幌大会

札幌市は、さっぽろ雪まつりの会場

となる大通公園、広大で牧歌的な風景

が広がる羊

ヶ丘展望

台、ジンギ

スカンを堪能

できる

ビール園な

ど観光も多

彩です。季

節も最高!



会場となる「北海きたえーる」

“芦屋市身障協会の取り組み”をご紹介します!
～障害者の声を届ける～

芦屋市身体障害者福祉協会は、市障害福祉課の協力を得て市内の身体障害者手帳所持者を対象に「街情報収集アンケート」を実施し、その結果を昨年末に取りまとめ公表しました。調査方法は、往復はがきを使って質問・回答をするというグッドアイデアです。

返信はがきで寄せられた意見や疑問等の情報を関係先に届けたところ、市役所各担当課、警察、電車・バス会社などから丁寧な回答があったそうです。すでに改善されたものもありましたが、費用のこともあり時間がかかる事柄も多かったそうです。しかしその後、改善に取り組んだことを報告してくださるとのことです。この調査は、障害者が日常で不自由さを体験し気づいた事を、街づくりに生かしてもらうため積極的に情報発信することがとても大切だと再認識する良い機会になったそうです。すでに似たような取り組みをされた身障団体もあるかと思いますが、まだ実施されていない団体はぜひチャレンジして欲しいと考え、芦屋市身障協会の取り組みをご紹介します。

【問い合わせ先】 芦屋市身障協会事務局 ☎0797-22-4598 担当・杉田

兵庫ゆずりあい駐車場利用証交付申請のご案内

～兵庫ゆずりあい駐車場；
歩行が困難な人のための駐車スペースです～

「兵庫ゆずりあい駐車場制度」の利用証交付申請は、所属の市郡町身障者団体事務局の窓口で受付けています。簡単な手続きで交付申請ができますので、まだ利用証を取得されていない方はぜひお申し込みください。

なお交付対象者については一定の基準がありますので、事務局等にお問い合わせください。



「譲りあい感謝マーク」広報窓口拡大のお知らせ

～譲りあい感謝マークは、内部疾患や難病患者など外見から配慮が必要なことがわからない方がつけています!～

今年2月から「譲りあい感謝マーク」グッズの取扱窓口23カ所を一覧表にして、リーフレットの中に挿入するなど購入希望者の利便性の向上に努めています。

この制度は、各方面にご協力をいただいてポスターの掲示やリーフレットの配布を進めてきましたが、まだまだPRが必要な状況です。

今後も広報活動に力を注いでいきますので、ご協力よろしくお願いいたします。



「障害者ほっとライン」の相談現場から

「障害者ほっとライン（障害者110番運営事業）」は、障害者の社会参加と福祉の増進・向上を図ることを目的に、障害者やその家族の多様な相談に応じる常設相談窓口として、兵庫県身体障害者福祉協会が兵庫県から委託を受け、平成11年6月に開設されました。

相談は、年間を通じて毎日受け付けています。（但し、毎月第3日曜日から年末年始は休みです。）

障害者の累増とともに相談内容は多様化しており、相談者の心情や秘密に触れることも含めて家庭内の事情に深く立ち入る事例も増加しています。

相談件数は、開設年度こそ681件でしたが翌年度から1000件を超え、開設10年を迎えた平成20年度は約2400件に達し、以後毎年2000件を超えて推移し現在に至っています。

相談者の年齢分布は、40、50歳代が多数を占め、全体の約4分の3が男性であり、相談の大部分は障害者本人からのもので、障害区分では、身体障害、知的障害、精神障害、その他と分かれていますが、



熱心に対応するベテラン相談員

最近では精神障害者からの相談も増加しています。

一般の行政機関の相談窓口と違い、相談者からは日頃の生活で気になる事柄や生活不安、行政や施設の対応、福祉サービスや介護保険等にいたるまでの様々な相談や苦情が寄せられます。その内容は、家庭関係、近隣関係、生活上の苦情等が概ね50%、就職や日頃の生計等が概ね25%、その他健康・医療、社会参加・生きがいづくり、福祉サービス等となっています。

「障害者ほっとライン」の役割は、すべての障害者が自らの地域で円滑な生活が送れるように相談支援することですが、相談者からは「日々の暮らしの困難さと心身の悩みを抱えながら誰にも相談できない話を聞いてほしい」



という内容が多いようです。

現在、相談員は3名で日々交代して務めており、それぞれが持ち味を発揮して相談業務に当たっていますが、いずれの場合も「傾聴」を大切にすることが努めています。障害者やその家族等からの相談は間口が広く多岐にわたりますが、奥行きのある内容への対応はかなりの辛抱と根気のいる業務であり、終わりの見えない話にどこまで入り込むか、対人援助の多様性と社会福祉の本質論という複雑な課題に悩まされることもあります。

「障害者ほっとライン」における相談は、電話によるものが主流となっていますが、いつでも、どこからでも、何回でも、どんなことでも、時には愚痴を言う利便性は、心身に課題を抱え孤独に苦しむ人を支えることで、行政機能の及ばない領域での補完的役割と支援活動が期待されているところです。

（専門相談員・井上義章）

平成25年度兵身協関連の主な年間行事予定

- * 決算監事監査
平成25年5月2日（木）県福祉センター
- * 理事会
平成25年5月9日（木）県福祉センター
- * 評議員会
平成25年5月23日（木）県福祉センター
- * 第7回のじぎくスポーツ大会
（身体・陸上競技の部）
平成25年5月25日（土）
- * 県立三木総合防災公園陸上競技場
第58回日本身体障害者福祉大会
平成25年5月27日（月）～28日（火）
札幌市
- * 第5回兵庫県身体障害者青年交流のつどい
平成25年6月23日（日）芦屋市
- * 第25回全国車いすマラソン大会
平成25年9月29日（日）篠山市
- * 第13回全国障害者スポーツ大会
平成25年10月12日（土）～14日（月）
東京都
- * 第33回近畿ブロック福祉大会・相談員研修
平成25年10月18日（金）京都府民総合交流プラザ
- * 第20回兵庫県身体障害者グラウンドゴルフ県大会
平成25年10月23日（水）但馬ドーム
- * 兵庫県障害者福祉大会
平成25年11月30日（土）八鹿文化会館
- * 第9回兵庫県障害者芸術・文化祭
（舞台部門）
平成25年11月30日（土）八鹿文化会館
- * （美術工芸作品公募展）
平成26年3月原田の森ギャラリー本館
- * 第19回障害者スポーツ交流館杯ボウリング大会
平成26年3月スーパーボウル二見